

平成24年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年6月5日

上場取引所 大

上場会社名 ティーライフ株式会社
 コード番号 3172 URL <http://www.tealifeir.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 植田 伸司
 (氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第3四半期の業績(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第3四半期	3,550	—	295	—	283	—	152	—
23年7月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第3四半期	41.63	—
23年7月期第3四半期	—	—

(注)当社は、平成23年7月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成23年7月期第3四半期の記載及び平成24年7月期第3四半期増減率の記載をしております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第3四半期	3,948	3,208	81.3
23年7月期	3,397	2,750	81.0

(参考) 自己資本 24年7月期第3四半期 3,208百万円 23年7月期 2,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	—	—	800.00	800.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成23年10月26日開催の定時株主総会において、中間配当金の規定を新設する定款変更の決議を行っております。

3. 平成24年7月期の業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,850	7.3	421	9.3	430	8.8	258	15.1	68.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期3Q	4,250,000 株	23年7月期	3,500,000 株
24年7月期3Q	— 株	23年7月期	— 株
24年7月期3Q	3,656,022 株	23年7月期3Q	3,500,000 株

(注)当社は、平成23年11月2日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成23年11月2日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から復興関連需要の高まりとともに一部持ち直しの傾向がみられたものの、欧州債務危機や原油価格の高騰に加え、雇用・所得環境は依然として低調に推移し、先行き不透明な状況が続きました。

小売業界におきましては、食の安心安全に対する関心が一層高くなるとともに、先行き不安感を背景とした消費者の節約志向に対応すべく、業態や業種を超えた価格競争が激化しており、厳しい経営環境となりました。

このような環境のなか、当社は、成長を続けるWEBを主体とした顧客開拓を推進し、顧客の拡大及び開拓効率の向上を図るとともに、定期お届けコースへの誘導促進や新たな顧客育成プログラムの運用により、安定客の確保に注力してまいりました。また、当社WEBサイトからの注文については常に商品送料を無料とする施策や、『商品券セール』（商品券、未使用の切手・ハガキなど手持ちの金券で買い物ができる企画）や『下取りセール』（手持ちの健康食品または化粧品を送付で買上金額が割引される企画）の定期開催に加え、「ダイエットプーアール茶」など収益性の高い製品の販促に積極的に注力し、売上の拡大及び利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,550,486千円、営業利益295,818千円、経常利益283,606千円、四半期純利益152,212千円となりました。

なお、当第3四半期累計期間におけるセグメント別の概況については、当社の事業は単一セグメントのため、その概況を事業部門別に示すと次のとおりであります。

(健康食品関連事業)

健康食品関連商品を扱うカタログ『さらら』では、お客様の登場機会を増やす等、共感重視型のカタログ制作を推進してまいりました。商品におきましては、「ダイエットプーアール茶」「メタボメ茶」など、主力商品の試飲用サンプルを積極的に配布するとともに、『商品券セール』や『下取りセール』との相乗効果を狙い「豆乳おから焼きドーナツ」「オールブランチョコバー」など、ダイエット食品の品揃えを拡充し、売上の拡大に努めてまいりました。また、顧客開拓におきましては、広告媒体の投資比重を紙からWEBへと移し、顧客の拡大及び開拓効率の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、3,077,633千円（ポイント引当金調整額の加算前金額）となりました。

(化粧品事業)

化粧品を扱うカタログ『炭の露』におきましては、「クリアアップローション」のリニューアルや「ゆうきのせい」に大容量版を追加するなど、事業の柱となる主力商品の強化とともに、中身をお客様が選択できるセット商品「選べる福袋」の販売や、多忙な女性をターゲットとした「醗酵緑茶オールインワンジェル」の開発・発売により、新たな需要を喚起し、売上の拡大に努めてまいりました。また、顧客開拓におきましては、健康食品関連事業の顧客に対し、化粧品カタログ及び商品サンプルの配布や、メールマガジンの配信等を行うことにより、主に既存客における化粧品需要の掘り起こしを図ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、470,234千円（ポイント引当金調整額の加算前金額）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期会計期間末の資産合計は、3,948,563千円（前事業年度末比551,447千円増）となりました。

流動資産の増加（同569,898千円増）の主な要因は、売掛金が減少（同3,791千円減）したものの、有価証券が増加（同300,321千円増）、現金及び預金が増加（同225,365千円増）したことによるものであります。

固定資産の減少（同18,450千円減）の主な要因は、投資その他の資産が増加（同9,099千円増）したものの、無形固定資産が減少（同20,272千円減）、有形固定資産が減少（同7,278千円減）したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、739,725千円（前事業年度末比92,657千円増）となりました。

流動負債の増加（同86,619千円増）の主な要因は、未払法人税等が減少（同13,600千円減）したものの、買掛金が増加（同42,008千円増）、賞与引当金が増加（同21,307千円増）したことによるものであります。

固定負債の増加（同6,038千円増）の主な要因は、退職給付引当金が増加（同5,442千円増）したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、3,208,837千円（前事業年度末比458,790千円増）となりました。

純資産の増加の主な要因は、資本金が増加（同176,625千円増）及び、資本剰余金が増加（同176,625千円増）したことによるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期の業績予想につきましては、平成24年3月6日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

平成23年11月2日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行いましたが、期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

（追加情報）

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 7 月 31 日)	当第 3 四半期会計期間 (平成24年 4 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	786,462	1,011,828
売掛金	435,378	431,587
有価証券	811,582	1,111,904
たな卸資産	175,179	247,922
その他	78,928	51,420
貸倒引当金	△11,112	△8,343
流動資産合計	2,276,420	2,846,319
固定資産		
有形固定資産	296,315	289,037
無形固定資産	200,980	180,708
投資その他の資産	623,398	632,498
固定資産合計	1,120,694	1,102,243
資産合計	3,397,115	3,948,563
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,791	113,800
未払法人税等	66,800	53,200
賞与引当金	28,826	50,133
役員賞与引当金	20,080	13,300
ポイント引当金	15,680	13,062
その他	235,284	281,586
流動負債合計	438,462	525,081
固定負債		
退職給付引当金	19,188	24,630
その他	189,418	190,014
固定負債合計	208,606	214,644
負債合計	647,068	739,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	180,000	356,625
資本剰余金	150,000	326,625
利益剰余金	2,421,659	2,517,871
株主資本合計	2,751,659	3,201,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,612	7,715
評価・換算差額等合計	△1,612	7,715
純資産合計	2,750,046	3,208,837
負債純資産合計	3,397,115	3,948,563

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 8 月 1 日 至 平成24年 4 月 30 日)
売上高	3,550,486
売上原価	900,091
売上総利益	2,650,395
販売費及び一般管理費	2,354,576
営業利益	295,818
営業外収益	
受取利息	4,551
受取配当金	1,218
その他	2,199
営業外収益合計	7,969
営業外費用	
株式交付費	5,393
株式公開費用	14,708
その他	80
営業外費用合計	20,181
経常利益	283,606
特別利益	
受取補償金	4,041
特別利益合計	4,041
特別損失	
投資有価証券評価損	13,182
特別損失合計	13,182
税引前四半期純利益	274,466
法人税等	122,254
四半期純利益	152,212

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社は、健康食品・化粧品等を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年3月6日の大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）への株式上場にあたり、公募による株式の発行を行い、平成24年3月5日付で払込が完了いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ176,625千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金は356,625千円、資本剰余金は326,625千円となっております。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。